

救急カート(物品)

物品名	用途	注意点
バッグバルブマスク（BVM）	呼吸停止や重度の呼吸抑制患者に対し、手動で陽圧換気を提供する器具。酸素ボンベ接続により高濃度酸素投与が可能。	患者の顔面にフィットさせて使用。リーク防止に注意し、サイズ選定を正確に行う。
口腔エアウェイ	舌根沈下による気道閉塞を防止し、人工換気を補助するために口腔内に挿入する器具。	嘔吐反射のある患者には使用禁忌。適切なサイズ（口角～耳たぶ間）を選び、無理な挿入を避ける。
鼻腔エアウェイ	気道確保困難時に鼻腔を通じて気道を維持する補助具。意識が保たれている患者にも使用可能。	鼻出血や顔面外傷のある患者には禁忌。潤滑剤を用い、片側の鼻腔から緩やかに挿入する。
酸素マスク / カニュラ	低酸素血症時の酸素投与手段。カニュラは軽度～中等度、マスクは中等度～重度に対応。	マスク装着時は会話困難になるため、患者状態に応じて選択。酸素流量の調整が必要。
吸引器 / カテーテル	口腔内・気道内の分泌物・血液・嘔吐物を除去し、誤嚥や窒息を予防。	吸引圧と時間（10秒以内）に注意。使用後はカテーテルを廃棄し、器具を清潔に保つ。
除細動器 / AED	心室細動や無脈性心室頻拍に対する電氣的除細動を行うための医療機器。	パッドの位置（右胸上・左脇下）と患者との接触状況に注意し、除細動前は「離れて！」の声かけを徹底。
心電図モニター	心拍リズム・心電図波形をリアルタイムで表示し、致死的不整脈の早期発見に使用。	電極は皮膚を清拭後に貼付し、誤作動防止のためしっかりと固定する。導線の接触・断線に注意。
経皮ペーシングパッド	一時的ペーシングにより、重度徐脈や心停止直前の徐脈に対応。	胸部・背部にしっかりと密着させ、強い疼痛を伴う可能性があるため鎮痛薬併用を検討。
留置針（18G～24G）	緊急時の静脈路確保に使用。太径針（18G）は大量輸液や輸血に適す。	穿刺部位と患者の血管状態に応じた針サイズを選択。固定不良による抜去に注意。
輸液セット	輸液や薬剤の投与経路として用いられる滴下式システム。	ドリップチャンバーの液量と滴下速度管理を徹底。エア混入を防ぐため接続時のエア抜き必須。
三方活栓 / 延長チューブ	薬剤投与や採血をしやすくするため、ルートの分岐・延長に使用。	誤投与防止のため各ラインにラベル記載。バルブ開閉位置を常に確認する。
シリンジ（1mL～20mL）	薬剤の吸引・注入・ルートフラッシュ等に用いる注射器。	滅菌状態を保持し、使い捨てを厳守。容量選択を誤ると過量投与リスクあり。
注射針（皮下注・筋注・翼状）	薬剤の皮下注・筋注・採血時に使用。翼状針は穿刺の安定性が高い。	針のゲージ・長さを正確に選定し、針刺し事故防止策（セーフティ針等）を講じる。
アルコール綿 / 消毒綿	穿刺・処置部位の消毒、器具清拭に使用。	十分に拭き取り、乾燥後に処置。ヨード・クロルヘキシジンと使い分ける。
止血帯 / テープ類	静脈確保時の血管怒張補助および針・ルートの固定に使用。	止血帯の長時間使用は避ける。皮膚トラブル防止のためテープは優しく除去。
手袋 / ガウン / アイガード	感染防御用の個人防護具（PPE）として使用。	使用順・廃棄順を遵守し、破損時は速やかに交換。患者毎に交換を徹底。
バイタル記録用紙 / ペン	蘇生中の処置内容・薬剤投与時間・バイタル変化を記録。	記録漏れ防止のため即時記入。他者と共有できる文字で記載。
タイマー / ストップウォッチ	CPRの2分間周期・薬剤投与時間の管理に使用。	正確な時間管理が救命率に影響。開始・終了のタイミングを声掛けで共有。
感染性廃棄物容器	使用済注射針や体液付着器具の安全な廃棄に使用。	投入口を超えないようにし、7～8分目で交換。破損防止のため移動時に注意。